

# 部活動地域移行に関する アンケート結果

# 児童アンケート

## 【アンケートの概要】

### ○対象

西宮市立小学校・義務教育学校に在籍する4～6年生

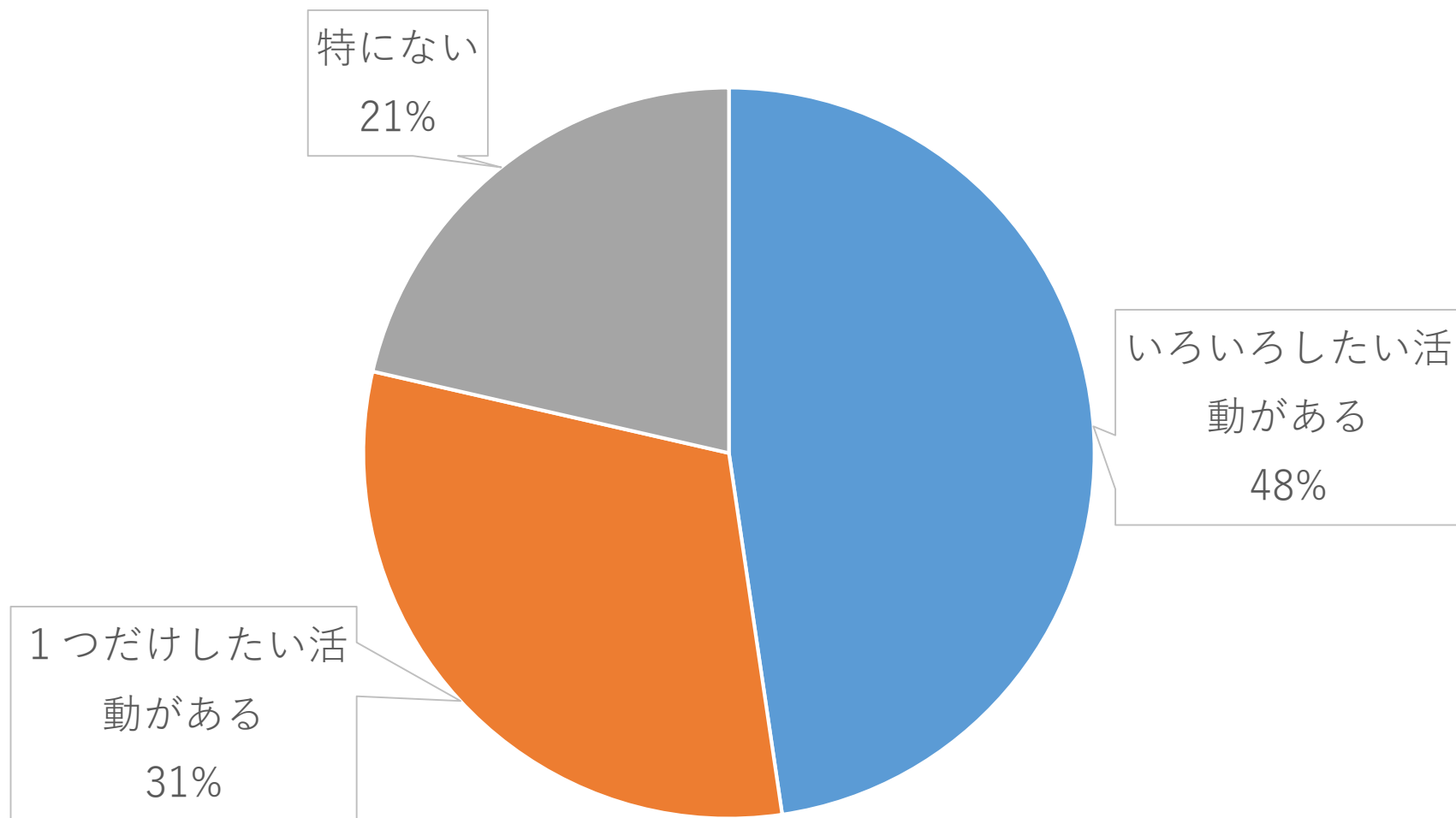
### ○期間

令和7年1月

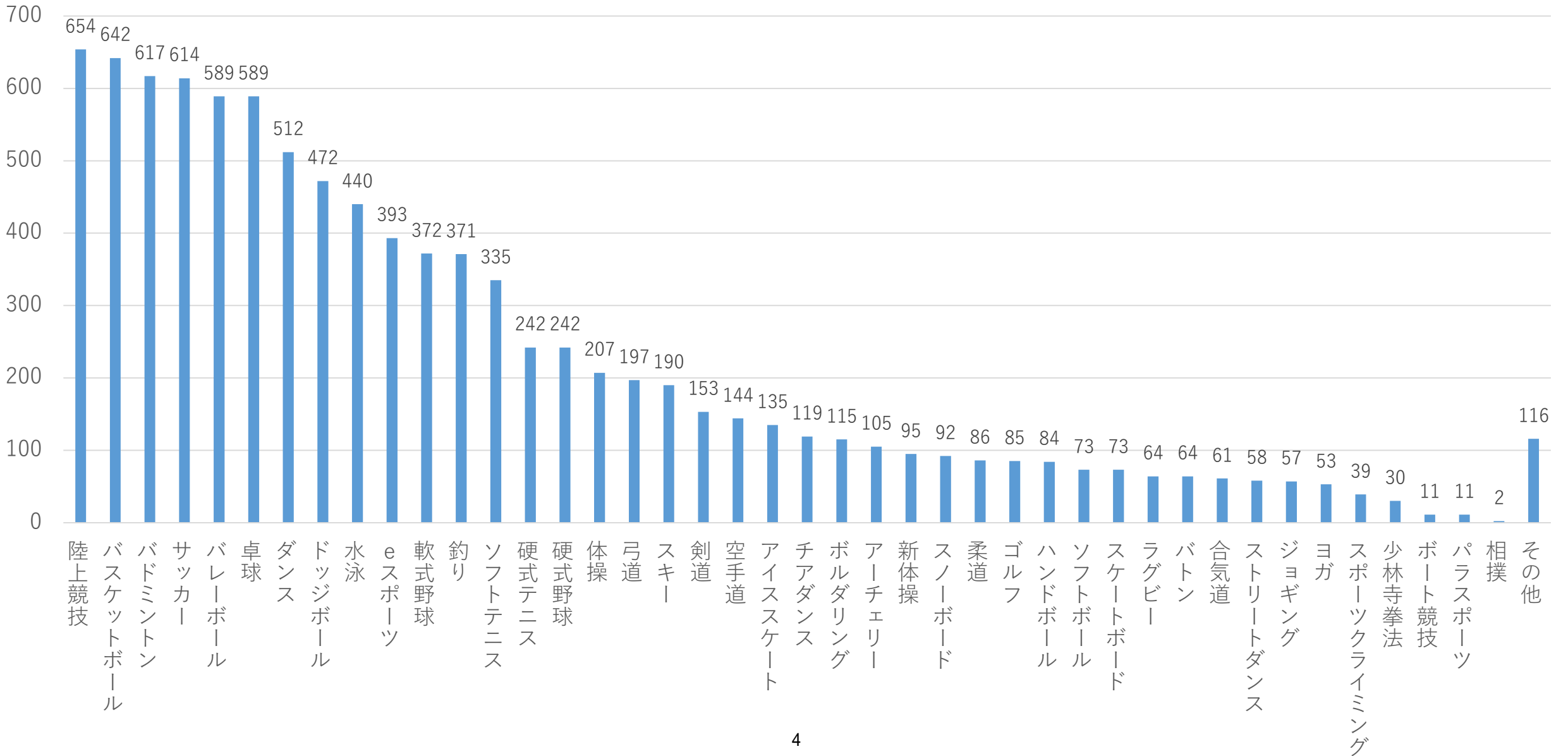
### ○回答数

8,458人

# 中学生になったら、放課後や休みの日に、勉強以外に やってみたい活動

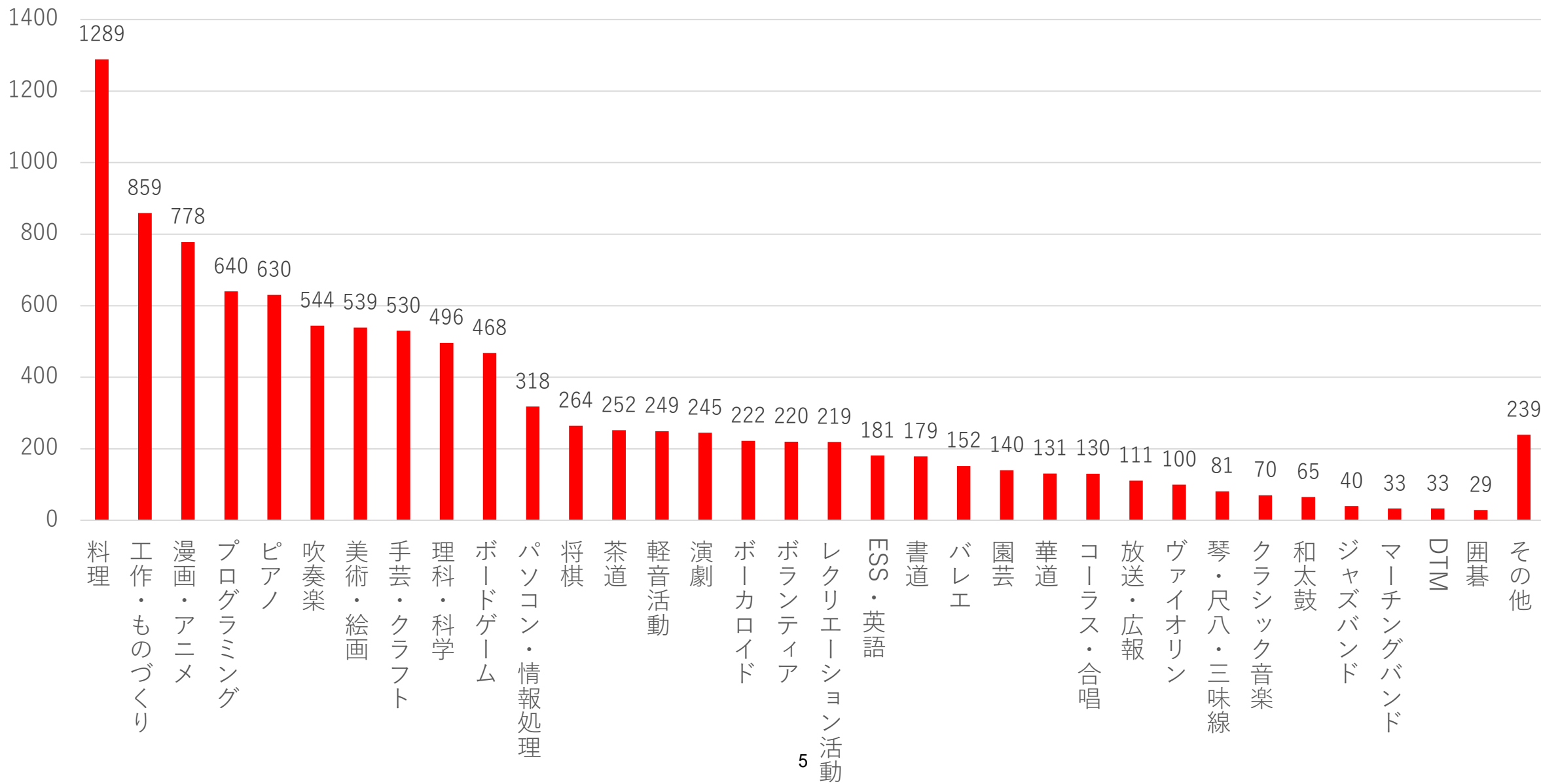


# 複数やりたい児童が希望する活動（スポーツ）

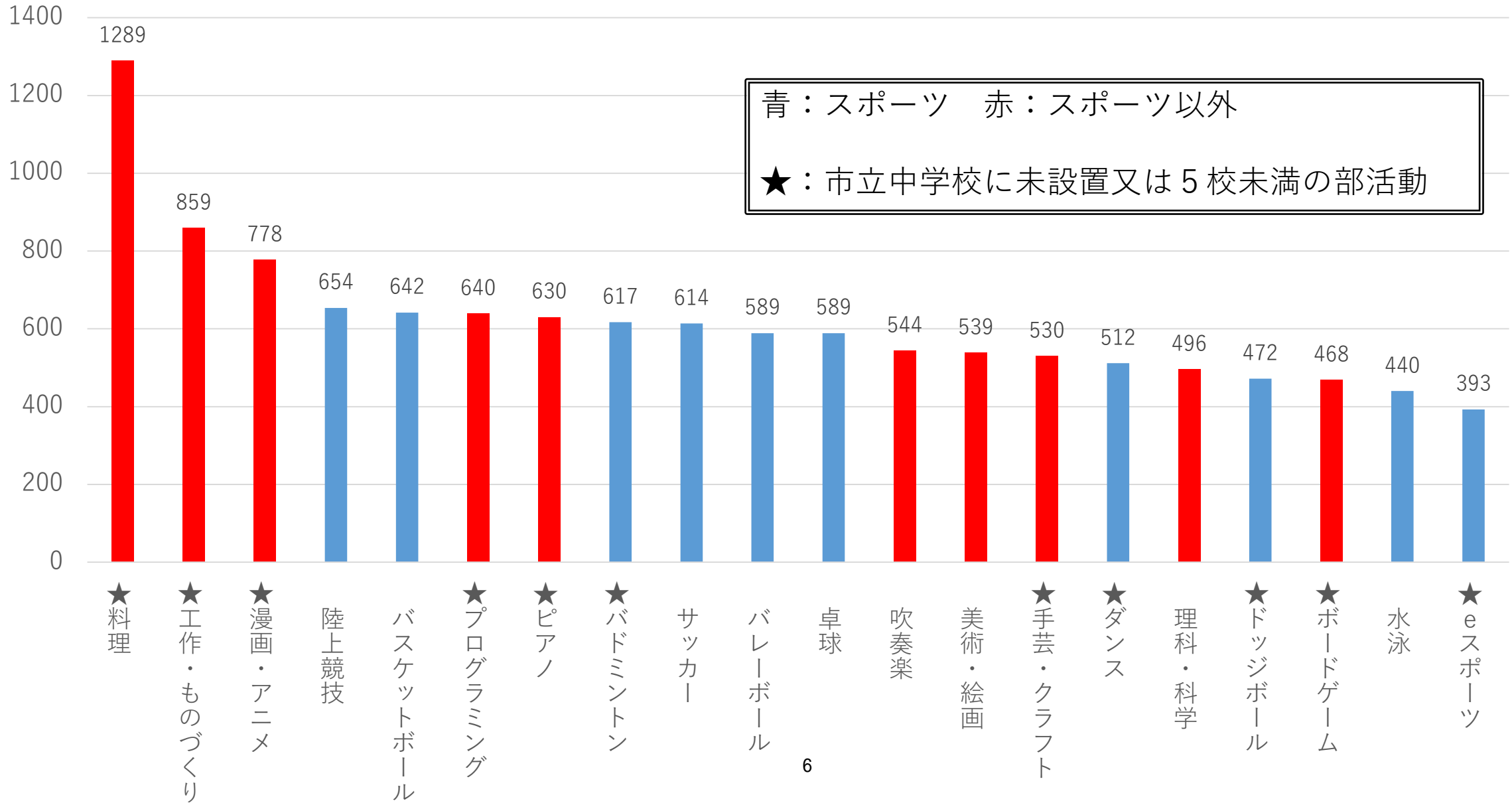




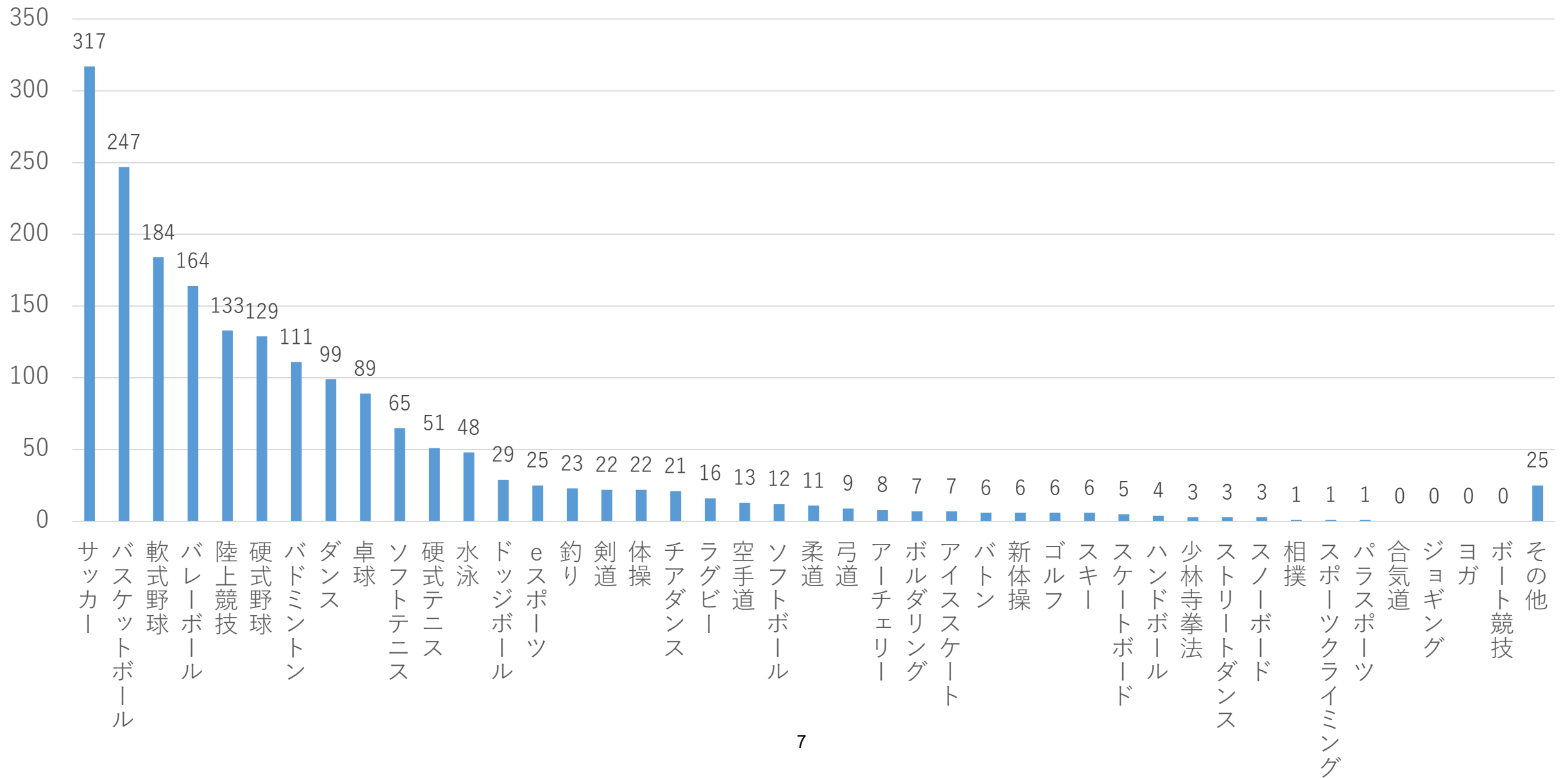
# 複数やりたい児童が希望する活動（スポーツ以外）



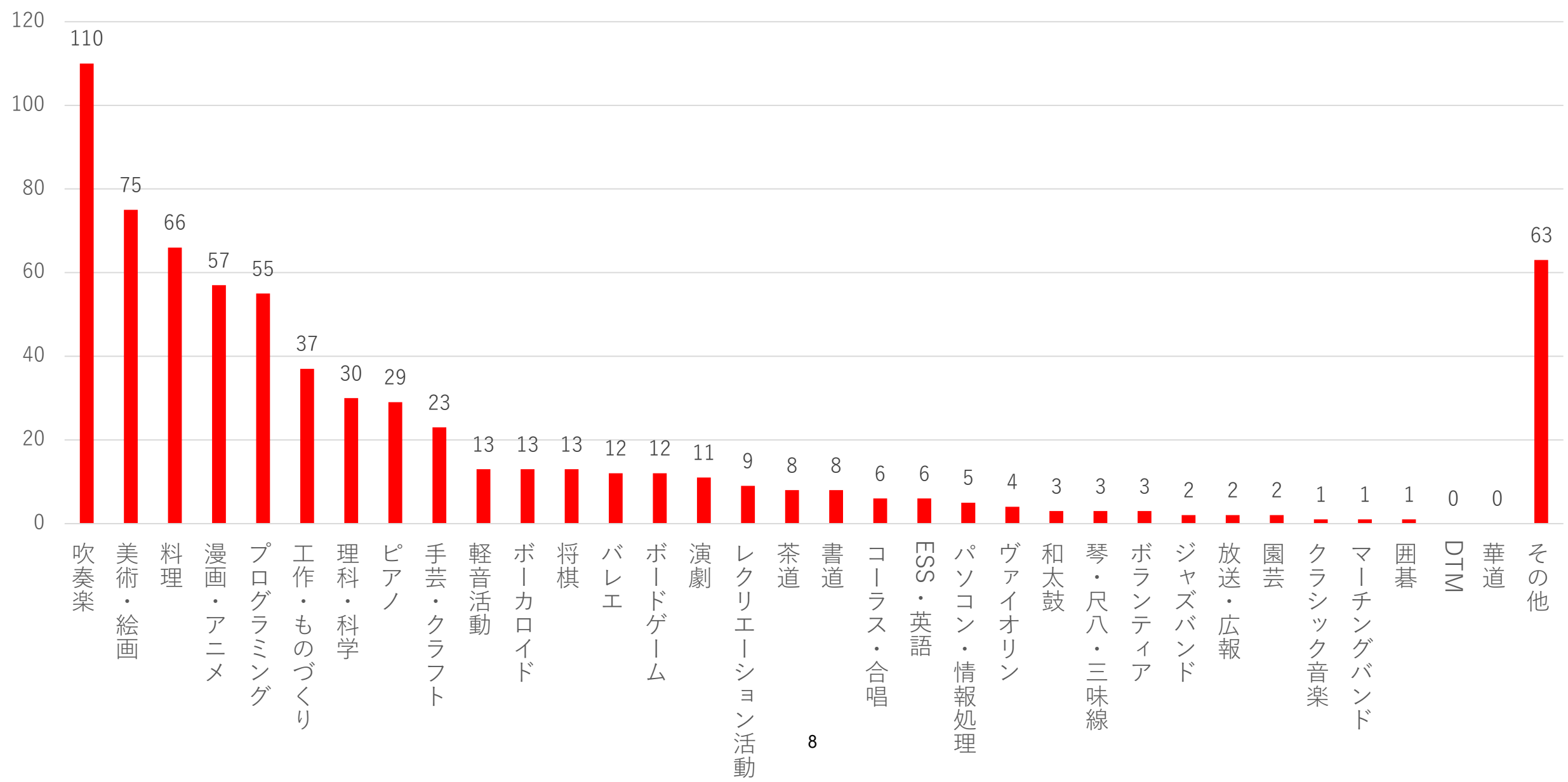
# 複数やりたい児童が希望する活動（上位20）



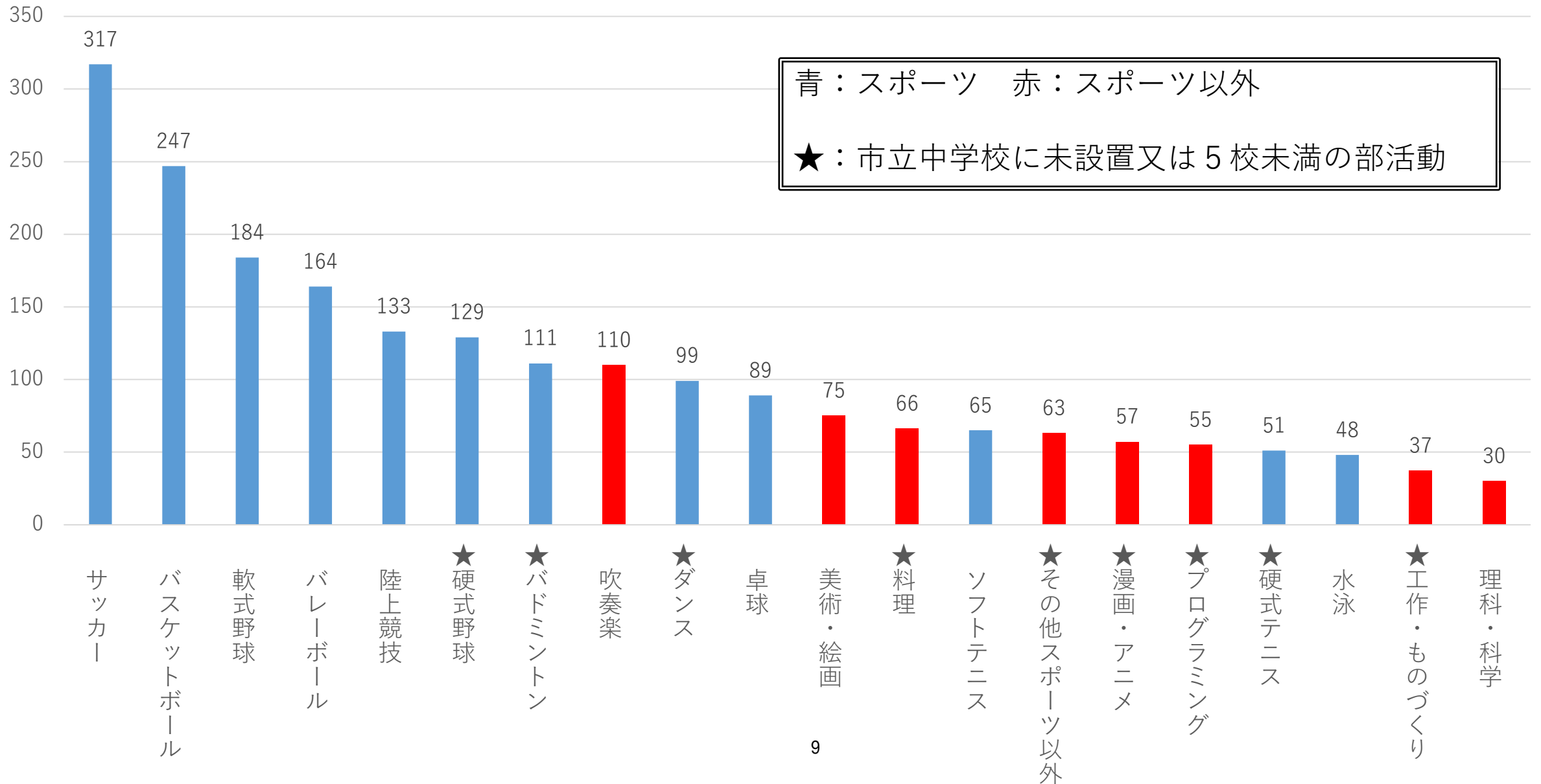
# 一つだけやりたい児童が希望する活動（スポーツ）



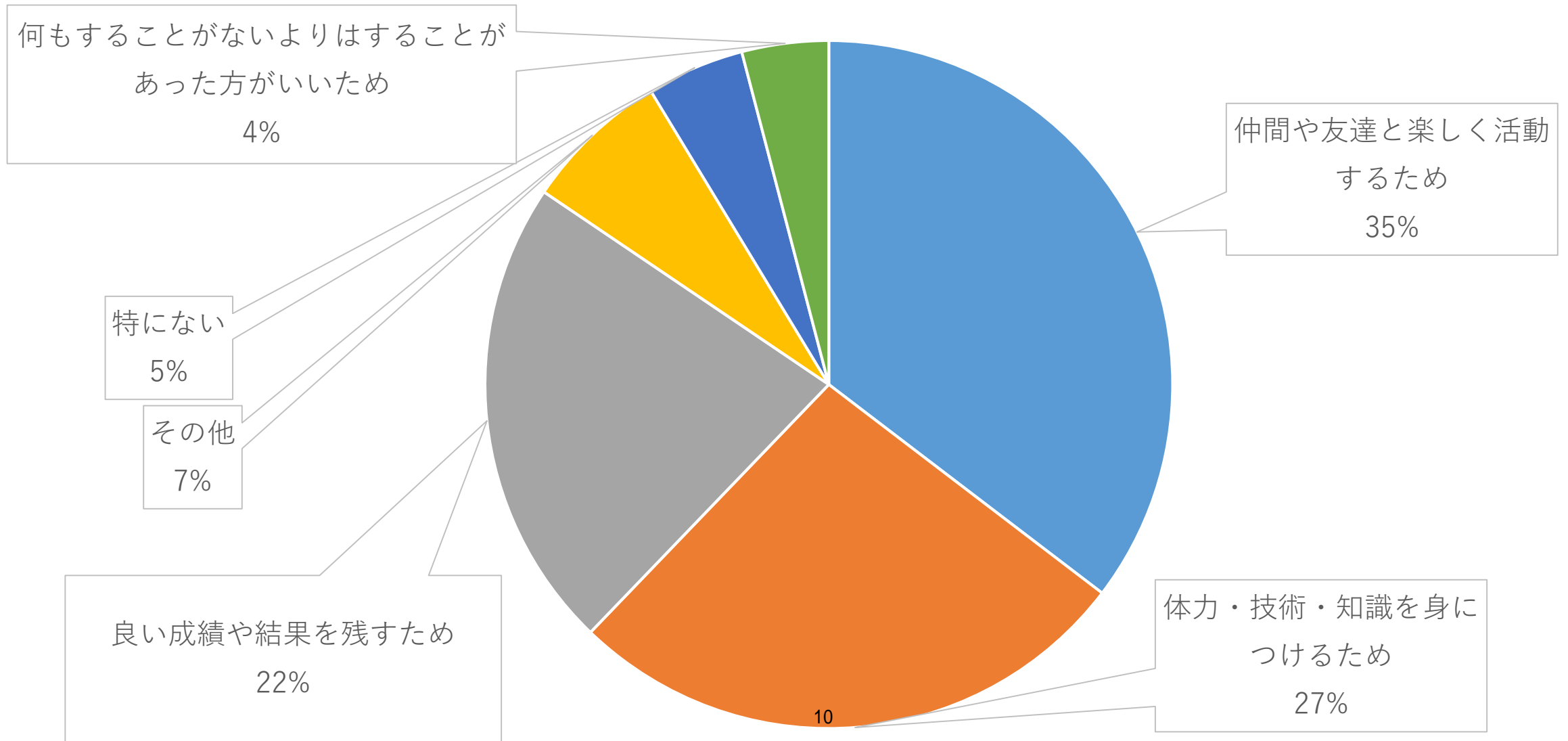
# 一つだけやりたい児童が希望する活動（スポーツ以外）



# 一つだけやりたい児童が希望する活動（上位20）



# 「したい活動がある」を選んだ児童 →どのような目的で活動したいか



不登校対策の現状について

①不登校児童生徒数(令和6年度12月、令和5年度12月 長欠報告より)

- ・令和6年度12月 小学校:463人、中学校:695人、計:1158人(前年度比-84人)
- ・令和5年度12月 小学校:493人、中学校:749人、計:1242人

\*12月時点での報告は4月~12月で20日以上欠席

②教育支援センター「あすなろ」登録人数(令和7年1月末時点)

	なるおきた	かわらぎ			やまぐち	みらい			しおせ	はまわき	うえがはら		オンライン
		AM	PM	計		AM	PM	計					
		カリキュラム制	カリキュラム制	フリーセッション制		ショートタイム制	少人数制	少人数制					
定員	50	45	45	90	15	25	25	50	15	15	15	250	300
小1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
小2	1	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	3	1
小3	0	0	1	1	1	3	0	3	0	0	0	5	1
小4	1	1	2	3	0	4	1	5	0	0	0	9	1
小5	0	1	2	3	0	2	0	2	0	0	0	5	7
小6	0	0	3	3	0	1	1	2	0	0	0	5	4
中1	4	2	3	5	0	3	0	3	1	0	0	13	3
中2	12	4	7	11	0	5	8	13	5	0	0	41	5
中3	12	10	8	18	0	6	9	15	3	2	0	50	1
小学生計	2	2	9	11	1	11	3	14	0	0	0	28	16
中学生計	28	16	18	34	0	14	17	31	9	2	0	104	9
総計	30	18	27	45	1	25	20	45	9	2	0	132	25

③あすなろオンライン登録人数(令和7年1月末時点)

- ・小学生:16人、中学生:9人、計25人登録。毎週水曜日に実施。毎回、2~3人が参加している。

④居場所サポーター派遣状況(令和7年1月末時点)

- ・小学校35校(35/40校)、中学校11校(11/19校)、義務教育学校1校(1/1校)に派遣。
- ・予算執行状況を見ながら、派遣依頼のある学校に回数を限定してできるだけ多くの学校に派遣。

⑤令和7年度(2025年度)当初予算 不登校児童生徒支援事業予定

- ・令和6年度の状況に鑑み、居場所サポーター派遣を拡充予定。
- 小学校20校、中学校13校 計33校に 週当たり1回または2回派遣、小学校15校に週当たり1回派遣。
- 小学校35/41校、中学校13/20校(義務教育学校含む)に派遣予定。

# 現在の不登校児童生徒への支援状況について

		小学生						中学生			合計	定員充足率	
定員		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3			
<b>不登校児童生徒数</b> (12月までに20日以上欠席)		22	58	64	73	105	141	168	251	276	1,158		
教育支援センター事業	あすなろ (週4日開設)	205	1	3	5	9	5	5	12	36	45	121	59.0%
	サテライト (週1・2日)	45	0	0	0	0	0	0	1	5	5	11	24.4%
	オンライン (週1日)	300	2	1	1	1	7	4	3	5	1	25	8.3%
<b>支援カバー率</b>			13.6%	6.9%	9.4%	13.7%	11.4%	6.4%	9.5%	18.3%	18.5%	13.6%	
		小学生全体の 上記事業の利用率は <b>9.5%</b> (463人中 44人)						中学生全体の 上記事業の利用率は <b>16.3%</b> (695人中 113人)					

## 居場所サポーター派遣事業

### 派遣状況 (令和7年1月末時点)

- ・ 小学校35校 (35/40校)、中学校11校 (11/19校)、義務教育学校1校 (1/1校) に派遣。
- ・ 予算執行状況を見ながら、派遣依頼のある学校に回数を限定してできるだけ多くの学校に派遣。

### 令和7年度 (2025年度) 当初予算 不登校児童生徒支援事業予定

- ・ 令和6年度の状況に鑑み、居場所サポーター派遣を拡充予定。  
小学校20校、中学校13校 計33校に 週当たり1回または2回派遣、小学校15校に週当たり1回派遣。  
→ 小学校35/41校、中学校13/20校 (義務教育学校含む) に派遣予定。



# 文部科学省 COCOLOプラン

(誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策)

## 目指す姿

# 1

— P5

**不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、  
学びたいと思った時に学べる環境を整えます。**

- ✓ 一人一人のニーズに応じた多様な学びの場\*が確保されている  
\* 不登校特例校、校内教育支援センター(スペシャルサポートルーム等)、教育支援センター等、こども家庭庁と連携し多様な学びの場、居場所を確保
- ✓ 学校に来られなくてもオンライン等で授業や支援につながるができる
- ✓ 学校に戻りたいと思った時にクラスを変えたり、転校したりするなど本人や保護者の希望に沿った丁寧な対応がされている



# 2

— P7

**心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援します。**

- ✓ 1人1台端末で小さな声が見え、心の不安や生活リズムの乱れに教師が確実に気付くことができる
- ✓ 小さなSOSに「チーム学校」で素早く支援することにより、早期に最適な支援につなげられている
- ✓ 教育と福祉等が連携し、子供や保護者が必要な時に支援が行われる\*  
\* こども家庭庁と連携し自治体の教育部局と福祉部局等の連携・協働を強化



# 3

— P9

**学校の風土の「見える化」を通して、  
学校を「みんなが安心して学べる」場所にします。**

- ✓ それぞれの良さや持ち味を生かした主体的な学びがあり、みんなが活躍できる機会や出番がある
- ✓ トラブルが起きても学校はしっかり対応してくれる安心感がある
- ✓ 公平で納得できる決まりやルールがみんなに守られている
- ✓ 障害や国籍言語等の違いに関わらず、色々な個性や意見を認め合う雰囲気がある

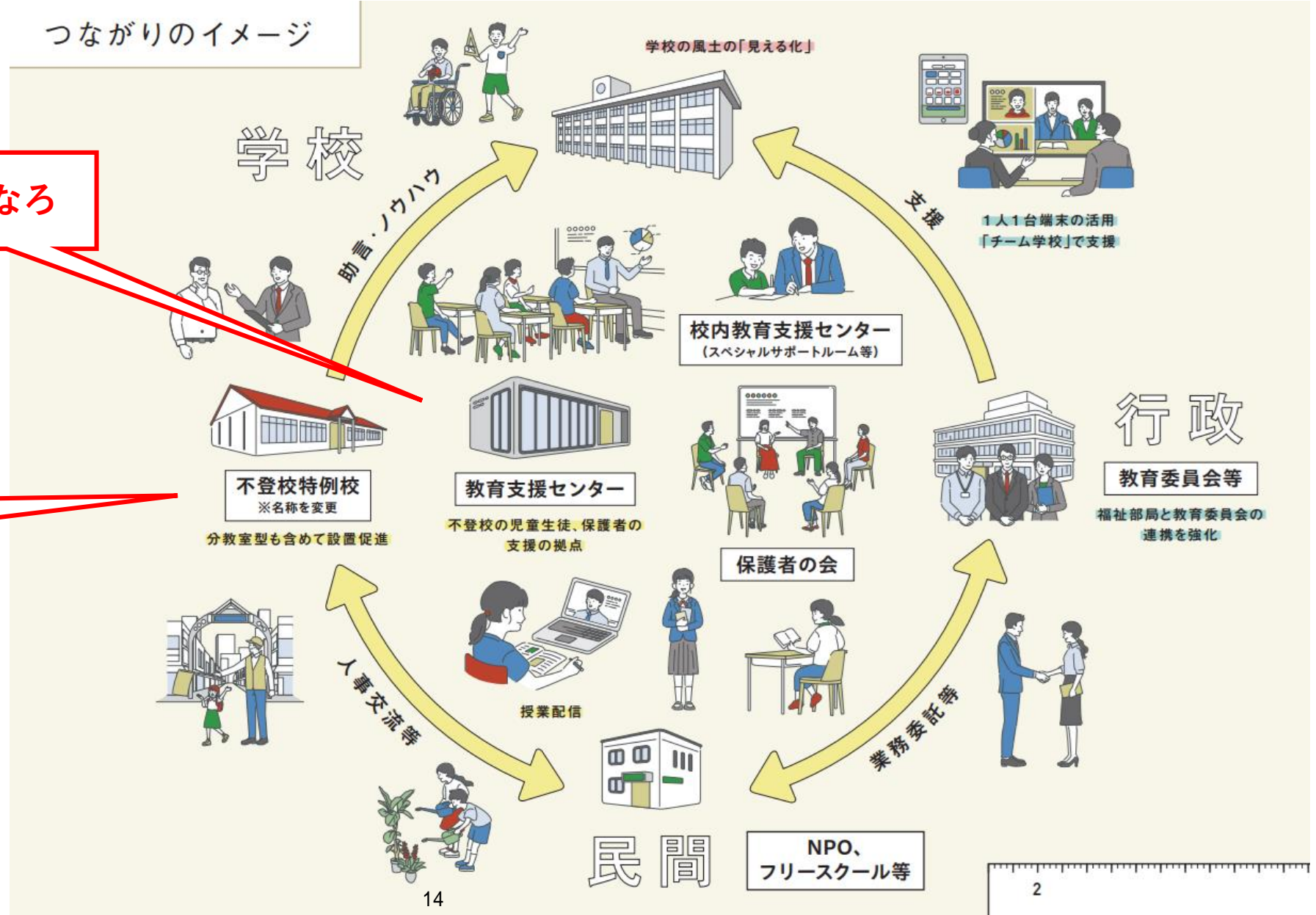


# COCOLOプランより「つながりのイメージ」

つながりのイメージ

あすなる

学びの多様な学校





# 「学びの多様化学校」

## 「学びの多様化学校」制度の概要

不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する必要があると認められる場合、文部科学大臣が、学校教育法施行規則第56条に基づき（第79条（中学校）、第79条の6（義務教育学校）、第86条（高等学校）、第108条（中等教育学校）において準用）、学校を指定し、特定の学校において教育課程の基準によらずに特別の教育課程を編成して教育を実施することができる。このような教育が行える学校のことを、「学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）」と呼んでいる。

## 指定に係る留意事項

- 1 年間30日以上欠席という定義が一つの参考
- 2 断続的な不登校や不登校の傾向が見られる児童生徒も対象となり得る
- 3 不登校児童生徒以外の児童生徒については、特別の教育課程の対象にはなり得ない
- 4 特別の教育課程とは、学校教育法に定める学校教育の目標の達成に努めつつ、施行規則の定めにかかわらず編成される教育課程
  - 不登校児童生徒の実態に配慮
  - 不登校児童生徒の学習状況にあわせた少人数指導や習熟度別指導
  - 個々の児童生徒の実態に即した支援（家庭訪問や保護者への支援等）
  - 学校外の学習プログラムの積極的な活用など指導上の工夫
- 5 指定を受けた小学校等については、文部科学省ホームページにおいて公表する

「幼児期から児童期への学びの系統表～西宮版～」(案) 豊林館「光村の『国語』構造と系統～小・中9年間を見通して』を基に作成

領域	内容	小学校国語						
		幼児期	1年	2年	3年	4年	5年	6年
話すこと・聞くこと	話す／聞く	<p><b>先生、きいて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言いたいな</li> <li>・聞いてほしいこと</li> <li>・伝えたいことを話す</li> <li>・自分の気持ちを受け止めてもらう</li> <li>・うんうん受け止めてもらう</li> </ul> <p><b>先生や友達の話</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いてみようかな</li> <li>・何を話しているのかな?</li> <li>・あ、ぼく、私と同じだ</li> <li>・聞きたいな</li> </ul>	<p><b>知らせたいことを話したり、聞いたりする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことを決め、二、三文程度で話す</li> <li>・聞き手の方向を見て話す</li> <li>・話している友達を、見て、終わりで聞く</li> <li>・聞き手は質問したり、感想を言ったりする</li> </ul> <p><b>考えながら聞く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもろいところ</li> <li>・聞いたこと</li> <li>・もっと知りたい</li> </ul>	<p><b>大事なことを落とさずに、話したり聞いたりする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大事なことは何か考えたり</li> <li>・聞くときは、大事なことを落とさないように、メモを取る</li> </ul> <p><b>質問をして、相手の考えを引き出す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の考えを詳しく聞かために、大事なことは何かを考えて質問する</li> </ul> <p><b>【対話の練習】道案内のしかた</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めに案内する場所を言う</li> <li>・通る道の順に説明する</li> <li>・曲がる所や方向、目印になるものを、はっきりと言う</li> </ul> <p><b>伝えたいことを決めて、発表する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何について話すのかを考え、そのときのことを詳しく書き出す</li> <li>・聞き取りやすい声の大きさを意識して話す</li> </ul>	<p><b>話を聞いて、質問する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話手の方を見ながら聞く</li> <li>・話の内容や、自分が知りたいことをはっきりさせる</li> <li>・知りたいことについて、どのように質問するとよいかを考える</li> </ul> <p><b>相手や目的を考え、理由を挙げて話す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手を見て、理由を確かめる</li> <li>・話の順序や話題などを工夫する</li> <li>・伝えたいことに合う理由や資料を選ぶ</li> </ul>	<p><b>順序を捉える</b></p>	<p><b>「まくこと」で理解し合う</b></p>	<p><b>順序を捉える聞いて、考えを深める</b></p>
	話し合う	<p><b>皆で話してみよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が進行役</li> <li>・話題の提案</li> <li>・心算はこう思うんだって</li> <li>・子供の話の代弁</li> <li>・子供の仲介</li> <li>・自分なりに思う事、考えたこと</li> <li>・どうしたいかな</li> </ul>	<p><b>二人で話し合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人で考えを出し合い、問題にする物と、ヒントを出す順番を決める</li> <li>・自分の話の代弁</li> <li>・やり取りを聞いて、問題の答えを考える</li> </ul>	<p><b>考えを出し合い、話し合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の考えを詳しく聞かために、自分の考えと同じところと違うところはどこか</li> </ul>	<p><b>【対話の練習】話し合い方を決める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの目的を、全員で出し合う</li> <li>・出された考えを、仲間分けして整理する</li> </ul> <p><b>役割に応じて話し合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のことを考えながら話し合うと、話し合いが進みやすくなる</li> <li>・初めは、記録係や時間を図る係と協力して、出した意見を整理しながら進行する</li> </ul>	<p><b>【対話練習】自分とは違う立場になって考える</b></p>	<p><b>【対話の練習】二つの立場から考える</b></p>	<p><b>【対話の練習】いろいろな考え方を聞いて、自分の考えにいかす</b></p>
書くこと	報告・記録	<p><b>お休み調べ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親戚訪問への伝達</li> <li>・欠席人数</li> <li>・何人お休みカードで遊びボードに貼る</li> </ul> <p><b>観察したこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見たり、触ったり、においをかいだりしたことを見振り手ぶりや言葉で伝える</li> <li>・観察して気が付いたことを話す</li> </ul> <p><b>きいてほしいこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいこと</li> <li>・先生は言葉を書こう</li> <li>・見聞きしたことを、自分なりの言葉で伝える</li> <li>・伝え方を知る</li> </ul>	<p><b>詳しく書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象をよく見て、見つけたことを絵と簡単な単語で書く</li> <li>・書き出した語句をもとに対象の特徴を説明する文章を書く</li> <li>・文章を書いたら、確かめる</li> </ul> <p><b>順序に気をつけて書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の順に気をつけると、分かりやすく書くことができる</li> </ul> <p><b>書いたものを読み合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表裏の文章を読んで、思ったことや分かったことを伝える</li> </ul> <p><b>分かりやすく書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に、あったことを短く書く</li> <li>・次に、詳しく思い出したことを書く</li> </ul>	<p><b>観察したことを書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見たり、触ったり、においをかいだりして、丁寧に観察する</li> <li>・観察したことを、詳しく書く</li> </ul> <p><b>組み立てを考えて書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めに、何を知らせたいかを書く</li> <li>・内容ごとに、まとまりを作る</li> <li>・「終わり」に、まとめの言葉を書く</li> </ul> <p><b>順序が分かるように書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の組み立てと、説明の順序を考える</li> </ul> <p><b>読む人に分かりやすく文章を書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容ごとに、まとまりを作る</li> <li>・書いた文章を読み返して、間違いがないかを確認する</li> </ul>	<p><b>組み立てを考えて、報告する文章を書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことを、内容のまとまりに分ける</li> <li>・分かったことと考えたことを区別して書く</li> <li>・分かりやすく絵や写真を使う</li> </ul> <p><b>例を挙げて書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容のまとまりごとに、段落を分ける</li> <li>・「(1)」に知らせたいことを、詳しく書く</li> <li>・例を挙げて順序や、絵や写真の示し方を工夫する</li> </ul> <p><b>感想を伝え合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や書き方について、どう思ったのかを詳しく伝える</li> <li>・自分の文章に対する感想を知ると、内容や書き方のよいところがよく分かる</li> </ul>	<p><b>事実を分かりやすく伝える</b></p>	<p><b>理由や例を挙げて考えを伝える</b></p>	<p><b>文章の感想を伝え合う</b></p>
	日記・手紙、創作など	<p><b>経験画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足等で経験したことを絵で描く</li> <li>・どんなことが楽しかったのか、言葉で引き出す(聞く)</li> </ul> <p><b>お手紙ごっこ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お手紙を書く(絵など)</li> <li>・書かない相手</li> <li>・先生が書いた字</li> <li>・字を書きたい気持ちの芽生え</li> </ul>	<p><b>手紙を書くとき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の名前と、自分の名前を書く</li> <li>・間違いないか、読み返す</li> </ul>	<p><b>日記に書くこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・したこと</li> <li>・見たこと、見つけたもの</li> <li>・言ったこと、聞いたこと</li> <li>・思ったこと</li> </ul> <p><b>お話を書くとき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初め「中」で終わりのまとまりに分けて書く</li> <li>・話が何をしたのかよく分かるように書く</li> <li>・様子よく分かるように、言葉を選んで使う</li> </ul> <p><b>語に書くことを見つける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いたこと</li> <li>・聞いたもの</li> <li>・食べたもの</li> <li>・やってみたこと</li> <li>・その時に感じたこと</li> </ul>	<p><b>内容の手紙を書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手があるために必要なことを考える</li> <li>・来てほしい気持ちを伝える</li> <li>・丁寧な言葉を使い、文字を正しく書く</li> </ul> <p><b>物語の組み立てを考えて書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは次のような組み立てで書く</li> <li>①始まり ②出来事が起る</li> <li>③出来事が解決する ④結び</li> <li>・組み立てを整理するとき、場面の様子や登場人物のことを詳しく考える</li> </ul>	<p><b>手紙で気持ちを伝える</b></p>	<p><b>読み返して、書いたものを整える</b></p>	<p><b>表現を工夫する</b></p>
説明的な文章	絵本の読み聞かせ	<p><b>「問い」と「答え」を捉えて読む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「問い」の文と「答え」の文に気をつけて読む</li> </ul> <p><b>読んで確かめる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何が書いてあるかを捉える</li> <li>・大事な言葉を確かめながら読む</li> </ul> <p><b>順序に気をつけて読む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の順に気をつけて読み、まとまりごとに「しごと」につづりをよみ分ける</li> </ul> <p><b>比べて読む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比べて読み、特徴の違いなどを考える</li> </ul>	<p><b>説明する文章を読む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する文章を読むときには、順序やわけに気をつける</li> </ul> <p><b>読んで、考えをもつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰か何をしたかや、何があったかを、順序に気をつける</li> <li>・読んで分かったことと、自分の知っていることを比べる</li> </ul> <p><b>大事な言葉や文を見つける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何について書かれた文章か</li> <li>・自分の知りたいことは何か</li> </ul>	<p><b>段落とその中心を捉える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章は「初め」「中」「終わり」などの大きなまとまりに分けられる。大きなまとまりは、一つ、またはいくつかの段落でできている</li> <li>・一つの段落には、しれぞれ、ひとまとまりの内容が書かれている</li> <li>・「問い」と「答え」に気をつけると、文章全体の組み立てや、段落の中心を捉えることができる</li> </ul> <p><b>話題と、例の書かれ方を見つける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名や、「初め」から、話題を確かめる</li> <li>・「中」の例と話題のつながりを見つけ、それぞれの段落の役割を考える</li> <li>・例を挙げる順序や写真の使いなど、筆者の例の書き方に気をつける</li> </ul> <p><b>説明する文章を読んで、感想を伝え合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する文章を読むときには、次のことを気をつけながら読むとよい</li> <li>○初めて知って驚いたこと</li> <li>○もっと知りたいと思ったこと</li> <li>○読んだ感想を伝えるときには自分の考えと同じところや違うところに着目し、聞く</li> </ul>	<p><b>筆者の考えを捉える</b></p>	<p><b>【生活の中で読もう】パンフレットの読み方</b></p>	<p><b>【生活の中で読もう】新聞の読み方</b></p>	<p><b>【生活の中で読もう】利用案内の読み方</b></p>
	説明的な文章	<p><b>筆者の主張と、それを支える事例を捉える</b></p>	<p><b>文章の構成と着目する</b></p>	<p><b>文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉える</b></p>	<p><b>筆者の考えと表現を捉える</b></p>	<p><b>文章以外の資料を効果的に用いる</b></p>	<p><b>複数の文章を読んで考えたことを交流する</b></p>	

中学校国語		
1年	2年	3年
<p><b>情報を的確に聞き取る</b></p>	<p><b>資料や機器を活用して話す</b></p>	<p><b>相手を説得するために構成を工夫する</b></p>
<p><b>わかりやすい話の構成を考える</b></p>	<p><b>質問で思いや考えを引き出す</b></p>	<p><b>質問で相手の思いに迫る</b></p>
<p><b>質問で話を引き出す</b></p>	<p><b>資料を使って、自分の考えや思いを効果的に伝える</b></p>	<p><b>場の状況に応じ、わかりやすく話す</b></p>
<p><b>相手の反応を踏まえながら話す</b></p>		
<p><b>話題を的確に捉える</b></p>	<p><b>互いの立場や意見を尊重する</b></p>	<p><b>合意を形成をする</b></p>
<p><b>話題や展開を捉えて話し合う</b></p>	<p><b>互いの考えを尊重しつつ話す</b></p>	
<p><b>情報を集めて取捨選択をする</b></p>	<p><b>多様な方法で集めた情報を整理する</b></p>	<p><b>論理の展開を考える</b></p>
<p><b>根拠を明確にして書く</b></p>	<p><b>適切な根拠を選び、構成を工夫する</b></p>	<p><b>論理の展開や表現を工夫する</b></p>
<p><b>伝えることを明確にする</b></p>	<p><b>伝えたいことに合わせた構成を考える</b></p>	
	<p><b>友達からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだす</b></p>	
<p><b>必要な情報を明確に伝える</b></p>	<p><b>表現を工夫して思いを伝える</b></p>	<p><b>構成を工夫し、内容を効果的に伝える</b></p>
<p><b>表現を工夫して創作する</b></p>	<p><b>表現の効果を考えて描写する</b></p>	
<p><b>構成を工夫して書く</b></p>		
<p><b>段落の役割に着目する</b></p>	<p><b>文章と結び付けて読む</b></p>	<p><b>論理の展開を捉える</b></p>
<p><b>文章の構成に着目する</b></p>	<p><b>論理の展開を吟味する</b></p>	<p><b>文章を比較的に読み、評価する</b></p>
<p><b>文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉える</b></p>	<p><b>視点を明確にして文章を比較する</b></p>	<p><b>文章を読んで、自分の意見をもつ</b></p>
<p><b>構成や展開の効果を考える</b></p>		
<p><b>目的に応じて要約する</b></p>		

読むこと	文学的な文章	<b>絵本の読み聞かせ</b> ・絵本を読んでもらう心地よさ ・絵から想像すること ・感情移入できる ・聞きたい、読みたい気持ちの芽生え	<b>お話を読む</b> ・誰が何を言ったりしたかに気をつける ・登場人物になったつもりで、声を出して読む	<b>お話を確かめる</b> ・登場人物を確かめる ・登場人物がしたことや、行ったことが分かる言葉を見つける ・絵に描かれていることを手がかりにする	<b>場面の様子や、登場人物の気持ちや想像する</b> ・したことを表す言葉、言ったことを表す言葉、気持ちを表す言葉 <b>登場人物の変化に気をつけて読む</b> ・どんな出来事が起こったのか ・その時の登場人物の気持ちや様子は、どのような言葉に表れているか ・出来事が起こる前と後とで、登場人物はどう変わったか	<b>場面と場面のつながりを考える</b> 特別な言葉に着目する 話し合っを考えを深める 登場人物の変化と、出来事の関係をとらえる 感じ方の違いを楽しむ	<b>登場人物どうしのかわりを読む</b> 物語の全体像から考えたことを伝え合う 伝記を読む 優れた表現に着目する	<b>視点の違いに着目して、人物像を捉える</b> 作品の世界を捉える 物語の読みを広げる	心情の変化を捉える 描写に着目する 結び付けて解釈する 語り手の視点に着目する 表現の効果を考える	<b>登場人物の設定を捉える</b> 登場人物の言動の意味を考える 表現の効果を考える 人物像に着目する	展開のしかたを捉える 文学作品を批評する
		<b>お話から気づいたこと</b> ・絵から想像すること ・考えたこと ・気づいたこと ・分かったこと	<b>思い浮かべながら読む</b> ・友達と声を合わせて読む ・登場人物がしたことや行ったことを思い浮かべながら読む	<b>あらすじをまとめる</b> ・人物がしたことや出来事を、短い言葉で書く ・書いたものを、お話の順につなげる	<b>物語に対する感想をもつ</b> ・場面と場面を比べて、人物の様子や出来事の違いと、その理由について考える ・物語を誰の立場から読み、出来事をどうとらえるかによって、物語に対する感想は違ってくる	<b>登場人物の変化と、出来事の関係をとらえる</b> 感じ方の違いを楽しむ	<b>登場人物どうしのかわりを読む</b> 物語の全体像から考えたことを伝え合う 伝記を読む 優れた表現に着目する	<b>視点の違いに着目して、人物像を捉える</b> 作品の世界を捉える 物語の読みを広げる	心情の変化を捉える 描写に着目する 結び付けて解釈する 語り手の視点に着目する 表現の効果を考える	<b>登場人物の設定を捉える</b> 登場人物の言動の意味を考える 表現の効果を考える 人物像に着目する	展開のしかたを捉える 文学作品を批評する
	<b>生活発表会</b> ・お話を表現する ・気づいたこと ・なりきって遊ぶこと ・様子を思い浮かべて ・想像の世界を楽しむ ・必要な小道具を作る	<b>好きなところを探して読む</b> ・お話には、いくつものまもりがある ・好きなところを選び、書き写したり、場面の絵を描いたりする ・声の大きさや読む速さを考えて、音読する	<b>人物がしたことや様子を思い浮かべる</b> ・お話にある言葉や絵から、人物がしたことや様子を考える ・人物が、そのことをしたり言ったりしたのはどうしてなのかを考える	<b>登場人物の変化と、出来事の関係をとらえる</b> 感じ方の違いを楽しむ	<b>登場人物どうしのかわりを読む</b> 物語の全体像から考えたことを伝え合う 伝記を読む 優れた表現に着目する	<b>視点の違いに着目して、人物像を捉える</b> 作品の世界を捉える 物語の読みを広げる	心情の変化を捉える 描写に着目する 結び付けて解釈する 語り手の視点に着目する 表現の効果を考える	<b>登場人物の設定を捉える</b> 登場人物の言動の意味を考える 表現の効果を考える 人物像に着目する	展開のしかたを捉える 文学作品を批評する		
読書		<b>絵本の読み聞かせ</b> ・音話 ・劇作絵本 ・童話	<b>音話を選んで読む</b> ・音話を読んで、好きなところを見つける ・読書カードを書いて、友達と交換する	<b>本を紹介する</b> ・音話を読んで、好きなところを見つける	<b>図鑑や科学読み物を読む</b> ・つかんや科学読み物は、取り上げる物事について、絵や写真、図などを使ったり、詳しく説明したりして、分かりやすく書かれている ・図鑑や科学読み物で何かを調べるときには、目次や索引を使うとよい	<b>事実に基づいて書かれた本を読む</b> 作者に着目して読み広げる	<b>作者に着目して読み広げる</b> 自分と本とのかわりについて考える	<b>本の中の中学生研究の現場によるこそ</b> 翻訳作品を読み比べてみよう 「自分らしさ」を認め合う社会へ	<b>「私の一冊」を探しにいこう 本は世界への扉</b>		
情報方扱い	<b>パネルシアター</b> <b>OHP</b> <b>紙芝居</b> ・様々な媒体		<b>順序を捉える</b> メモを取る 本で調べる	<b>全体と中心の関係</b> 引用する <b>科学読み物で調べる</b>	<b>考えと例の関係</b> 要約する 百科辞典で調べる	<b>鯨歌と結果の関係</b> 目的に応じて引用する 統計資料を読む	<b>主張と事例の関係</b> 情報と情報をつなげて伝える 調べた情報を用いる	<b>意見と根拠</b> <b>原因と結果</b> <b>比較・分類</b> 情報整理のしかた  引用・出典	<b>根拠を吟味</b> <b>具体と抽象</b> <b>思考の視覚化</b> <b>メディアの特徴</b>	<b>具体化・抽象化</b> <b>実用的な文章</b> <b>報道文</b> <b>情報の信頼性</b>	

「幼児期から児童期への学びの系統表～西宮版～」(案) 啓林館「新学習指導要領における算数・数学内容系統表一覧表」を基に作成

領域	小学校算数				領域	中学校数学		
	幼児期	低学年	中学年	高学年		第1学年	第2学年	第3学年
A 数と計算	<b>芋ほり</b> ・どれくらい掘れたのか ・多い、少ない  <b>リレー</b> ・人数の調整(何人ずつ) ・多い、少ない  <b>お店屋さんごっこ</b> ・商品価格のやり取り(いくら?おつりは?)  <b>東</b> ・花東○本か口東(東の数え方) ・まとまり	<b>【1年】</b> ○100までの数 ○100をこえる和(120程度)  ○1位数の加法・減法 ○簡単な2位数の加法・減法  <b>【2年】</b> ○1000までの数 ○簡単な分数  ○2位数の加法・現法 ○簡単な2位数の加法・減法  ○乗法の意味 ○九九、簡単な2位数の乗法	<b>【3年】</b> ○1億までの数 ○整数の加法・減法 ○整数の情報 ○除法の意味 ○1位数による簡単な除法  ○小数の意味、表し方 ○小数(1/10の位)の加法・減法 ○分数の意味、表し方 ○簡単な分数の加法・減法  <b>【4年】</b> ○1億をこえる数(億、兆) ○概数、四捨五入 ○整数の除法 ○整数の四則計算のまとめ  ○小数の加減(1/10,1/100の位) ○小数の乗法 ○同分母分数の加法・減法	<b>【5年】</b> ○偶数、奇数、素数、倍数、約数 ○分数と小数、整数の関係  ○小数の乗法 ○異分母分数の加減 ○分数の乗法  <b>【6年】</b> ○分数の乗法 ○分数・小数の混合計算 ○小数の・分数の計算のまとめ	<b>正の数・負の数</b> ・正負の数の必要性と意味 ・正負の数の四則計算  <b>文字を用いた式</b> ・文字を用いることの必要性と意味 ・乗法と除法の表し方 ・一次式の加法と減法の計算 ・文字を用いた式に表すこと  <b>一元一次方程式</b> ・方程式およびその解の意味 ・等式の性質と一次方程式の解き方 ・一次方程式を活用すること	<b>平方根</b> ・平方根の必要性と意味 ・平方根を含む式の計算 ・平方根を用いること  <b>式の展開と因数分解</b> ・単項式と多項式の乗法と除法の計算 ・簡単な式の展開や因数分解 ・文字を用いた式で数量関係をとらえ説明すること  <b>二次方程式</b> ・二次方程式とその解の意味 ・二次方程式を解くこと ・二次方程式を活用すること		
	<b>芋ほり</b> ・どれくらい掘れたのか ・多い、少ない  <b>時計</b> ・長い針と短い針(数字を形で認識)  <b>長さ(ひも、ツル、根っこ)</b> ・長さの比較(長い、短い)  <b>お店屋さん</b> ・たこ焼き何個? (何個の内、○個)	<b>【1年】</b> ○長さ、面積(広さ)、体積(かさ)の大きさの比較  ○時刻の読み方  <b>【2年】</b> ○長さの単位 ○簡単な分数	<b>【3年】</b> ○長さの単位(km) ○重さの単位(g,kg,t)  ○時間の単位(秒) ○簡単な時刻・時間の計算  <b>【4年】</b> ○面積の単位 ○長方形、正方形の面積 ○角度の単位	<b>【5年】</b> ○三角形、四角形、平行四辺形、台形、ひし形の面積 ○体積の面積(cm <sup>3</sup> ,m <sup>3</sup> ) ○直方体、立方体の体積  ○測定値の平均 ○単位量当たりの大きさ  <b>【6年】</b> ○概形の面積 ○円の面積 ○角柱、円柱の体積  ○速さ ○メートル法	<b>平面図形</b> ・基本的な作図の方法とその活用 ・図形の移動  <b>空間図形</b> ・直線や平面の位置関係 ・空間図形の構成と平面上の表現 ・扇形の弧の長さや面積、柱体や錐体及び球の表面積・体積	<b>平面図形と平行線の性質</b> ・平行線と角の性質 ・多角形の核の性質  <b>図形の合同</b> ・平面図形の合同と三角形の合同条件 ・証明の必要性と意味及びその方法 ・三角形や平行紙片家の基本的な性質	<b>図形の相似</b> ・平面図形の相似と三角形の相似条件 ・図形の基本的な性質 ・平行線と線分の比 ・相似な図形の対辺比と面積比、体積比 ・相似な図形の性質を活用すること  <b>円周角と中心角</b> ・円周角と中心角の関係 ・円周角の定理の逆  <b>三平方の定理</b> ・三平方の定理とその証明 ・三平方の定理を活用すること	
	<b>積み木遊び</b> ・形を知る(お山の形、座布団の形等) ・合わせる等と形の変化(お山を合わせると座布団の形に)	<b>【1年】</b> ○平面図形、立体図形の観察や考察  <b>【2年】</b> ○三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形  ○箱の形	<b>【3年】</b> ○円・球 ○正三角形、二等辺三角形 ○角  <b>【4年】</b> ○垂直と平行 ○台形、平行四辺形、ひし形  ○直方体、立方体	<b>【5年】</b> ○多角形、正多角形 ○三角形、四角形の合同 ○円周率  ○角柱、円柱、見取図、展開図  <b>【6年】</b> ○線対称、点対称 ○拡大、縮小	<b>比例、反比例</b> ・関数関係の意味 ・比例、反比例の意味 ・座標の意味 ・比例、反比例の特徴 ・比例、反比例を用いること	<b>一次関数</b> ・事象と一次関数 ・一次関数の特徴 ・二元一次方程式と関数 ・一次関数を用いること	<b>関数y=ax<sup>2</sup></b> ・事象と関数 ・関数の特徴 ・関数を用いること ・いろいろな事象と関数	
	<b>頑張りカード</b> ・取組も度にシールを貼る(多い、少ない) (棒グラフ、可視化)  <b>出席調べ</b> ・何人休み? (牛乳はいくつ減らす?)  <b>かるた遊び</b> ・とれた枚数の多い、少ない	<b>【1年】</b> ○加減の場面を式に表す ○絵や図を用いた数量の表現  <b>【2年】</b> ○加法と減法の相互関係 ○情報の場面を式に表す  ○簡単な表やグラフ	<b>【3年】</b> ○乗法の場面を式に表す ○式と図の関連、□を使った式  ○表や棒グラフ  <b>【4年】</b> ○四則混合の式、( )を用いた式 ○□、△などを用いた式  ○併せて変わる2つの数量の関係  ○2次元の表、折れ線グラフ	<b>【5年】</b> ○小数の乗法 ○異分母分数の加減 ○分数の乗法  ○百分率、円グラフ、帯グラフ  <b>【6年】</b> ○文字を用いた式 ○比 ○比例と反比例  ○資料の平均、度数分布 ○起こりうる場合	<b>資料のちらばりと代表値</b> ・ヒストグラムや代表値の必要性や意味 ・ヒストグラムや代表値を用いること ・誤差や近似値、 $a \times 10^n$ の表現	<b>確率</b> ・確率の必要性と意味、確率の求め方 ・確率を用いること	<b>標本調査</b> ・標本調査の必要性と意味 ・標本調査で母集団の傾向をとらえ説明すること	

「幼児期から児童期への学びの系統表～西宮版～」(案) 啓林館「小・中・高 理科の学習内容系統表」を基に作成

領域	内容	小学校理科						中学校理科			高校理科(基礎)
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	高校
エネルギー(物理領域)	光・音	影踏み ・影の映り方、方向、長さ ・太陽の明るさ		光の性質 ・光の反射・集光 ・光の当て方と明るさや暖かさ				光と音 ・光の反射・屈折 ・凸レンズの働き ・音の性質			波 ・波の性質 ・音と振動
	力・運動	生活の音 ・雨の音 ・楽器の音の振動		風やゴムの働き ・風の働き ・ゴムの働き		振り子の運動 ・振り子の運動	てこの規則性 ・てこのつり合いと重さ ・てこのつり合いの規則性 ・てこの利用	力と圧力 ・力の働き ・圧力	運動の規則性 ・力のつり合い ・運動の速さと向き ・力と運動	運動の表し方 ・物理量の測定と扱い方 ・運動の表し方 ・直線運動の加速度	
	電磁気	スイッチ遊び ・電気の不思議、流れ ・回転		電気の通り道 ・電気を通すつなぎ方 ・電気を通す物	電気の働き ・乾電池の数とつなぎ方 ・光電池の働き	電流の働き ・鉄心の磁化、極の変化 ・電磁石の強さ		電流 ・回路と電流・電圧 ・電流・電圧と抵抗 ・電気とそのエネルギー ・静電気と電流	電流と磁界 ・電流がつくる磁界 ・磁界中の電流が受ける力 ・電磁誘導と発電	電気 ・物質と電気抵抗 ・電気の利用	
	熱・エネルギーの利用	風船遊び・凧揚げ ・風の流れ、向き ・膨らませる力		磁石の性質 ・磁石に引きつけられるもの ・異極と同極		電気の利用 ・発電、蓄電 ・電気の変換 ・電気による発電 ・電気の利用			エネルギー ・様々なエネルギーとその変換 ・エネルギー資源	熱 ・熱と湿度 ・熱の利用	
物質(科学領域)	物質の構成	水遊び ・水の心地よさ ・水の強さなど		物と重さ ・形と重さ ・体積と重さ	空気と水の性質 ・空気の圧縮 ・水の圧縮	物の溶け方 ・物が水に溶ける量の限度 ・物が水に溶ける量の変化 ・重さの保存	燃焼の仕組み ・燃焼の仕組み	物質のすがた ・身の回りの物質とその性質 ・気体の発生と性質	物質の成り立ち ・物質の分解 ・原子、分子	水溶性とイオン ・空気の圧縮 ・水の圧縮	物質の探求 ・単体・化合物・混合物 ・熱運動と物質の三態
	物質の変化	芋ほり ・大きさや重さ		金属、水、空気と温度 ・温度と体積の変化 ・温まり方の違い ・水の三態変化		水溶性の性質 ・酸性、アルカリ性、中世 ・気体が溶けている水溶液 ・金属を変化させる水溶液	状態変化 ・状態変化と熱 ・物質の融点と沸点	化学変化と物質の質量 ・化学変化と質量の保存 ・質量変化の規則性	酸・アルカリとイオン ・酸・アルカリ ・中和と塩	物質の構成粒子 ・原子の構造 ・電子配置と周期表	物質と化合結合 ・イオンとイオン結合 ・金属と金属結合 ・分子と共有結合

生命 (生物領域)	植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一鉢の栽培</li> <li>成長への気づき</li> <li>季節みつけ</li> <li>季節毎の動植物の変化の気づき</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>季節と生物</li> <li>動物の活動と季節</li> <li>植物の成長と季節</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の発芽、成長、結実</li> <li>種子の中の養分</li> <li>発芽の条件</li> <li>成長の条件</li> <li>植物の受粉、結実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の養分と水の通り道</li> <li>花のつくりと働き</li> <li>葉・茎・根のつくりと働き</li> <li>水の通り道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の体のつくりと働き</li> <li>花のつくりと働き</li> <li>葉・茎・根のつくりと働き</li> <li>種子植物の仲間</li> <li>種子を作らない植物の仲間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物と細胞</li> <li>生物と細胞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植生の多様性と分布</li> <li>植生と遷移</li> <li>気候とバイオーム</li> </ul>
	動物	<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫遊び (カブトムシなど)</li> <li>昆虫の体の特徴などへの気づき</li> <li>幼虫から成虫までの成長観察</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫と植物</li> <li>昆虫の成長と体のつくり</li> <li>植物の成長と体のつくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の体のつくりと運動</li> <li>骨と筋肉</li> <li>骨と筋肉の働き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の体のつくりと働き</li> <li>呼吸・消化・吸収</li> <li>血液循環</li> <li>小さな臓器の存在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の体のつくりと働き</li> <li>生命を維持する働き</li> <li>刺激と反応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の仲間</li> <li>脊椎動物の仲間</li> <li>無脊椎動物の仲間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の体内環境</li> <li>体内環境</li> <li>体内環境の維持の仕組み</li> <li>免疫</li> </ul>	
	生命の連続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>あおむしの飼育</li> <li>生命への気づき</li> <li>成長観察、変態への気づき</li> <li>赤ちゃんとの触れ合い</li> <li>生命の誕生</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の誕生</li> <li>卵の中の成長</li> <li>水中の小さな生物</li> <li>母胎内の成長</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の仲間</li> <li>脊椎動物の仲間</li> <li>無脊椎動物の仲間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の成長と殖え方</li> <li>空気の圧縮</li> <li>水の圧縮</li> <li>生物の変遷と進化</li> <li>生物の変遷と進化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の特徴</li> <li>生物の共通性と多様性</li> <li>細胞とエネルギー</li> <li>遺伝子とその働き</li> <li>遺伝情報とDNA</li> <li>遺伝情報の分配</li> <li>遺伝情報とタンパク質の合成</li> </ul>	
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>生き物 (飼育)</li> <li>生命への気づき</li> <li>成長観察</li> <li>えさや適した環境などへの気づき</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然の観察</li> <li>身の回りの生物の様子</li> <li>身の回りの生物と環境とのかわり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生物と環境</li> <li>生物と水、空気のかかわり</li> <li>食べ物による生物の関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の観察</li> <li>生物の観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物と環境</li> <li>自然界のつり合い</li> <li>自然環境の調査と環境保全</li> <li>自然の恵みと災害</li> <li>自然環境の恵みと災害</li> <li>自然環境の保全と科学技術の利用</li> <li>自然環境の保全と科学技術の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系とその保全</li> <li>生態系と物質循環</li> <li>生態系のバランスと保全</li> <li>地球の環境</li> <li>地球環境の化学</li> <li>日本の自然環境</li> </ul>			
地球 (地学領域)	大地	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂場遊び</li> <li>砂の不思議、砂と土の違い</li> <li>泥水の時間による変化</li> <li>山や川作り (水の流れ方、地面への浸透)</li> <li>避難訓練</li> <li>各地での地震や過去の地震について</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>流水の働き</li> <li>流れる水の働き</li> <li>川の上流、下流と河原の石</li> <li>雨の降り方と増水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地のつくりと変化</li> <li>土地の構成物と地層の広がり</li> <li>地層のでき方と化石</li> <li>火山の噴火や地震による土地の変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>火山と地震</li> <li>火山活動と火成岩</li> <li>自身の伝わり方と地球内部の動き</li> <li>地層の重なりと過去の様子</li> <li>地層の重なりと過去の様子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象観測</li> <li>気象観測</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動する地球</li> <li>プレート運動</li> <li>火山活動と地震</li> <li>移り変わる地球</li> <li>地層の形成と地質構造</li> <li>古生物の変遷と地球環境</li> </ul>		
	気象	<ul style="list-style-type: none"> <li>お天気調べ</li> <li>天気の違い</li> <li>雲の流れ</li> <li>雨雲や入道雲の種類</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>天気の様子</li> <li>天気による1日の気温の変化</li> <li>水の自然蒸発と結露</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天気の変化</li> <li>雲と天気の変化</li> <li>天気の変化の予想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天気の変化</li> <li>霧や雲の発生</li> <li>前線の通過と天気の変化</li> <li>日本の気象</li> <li>日本の天気の特徴</li> <li>大気の動きと海洋の影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気と海洋</li> <li>地球の熱収支</li> <li>大気と海水の運動</li> </ul>				
	天体	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕まつり</li> <li>夜空への興味</li> <li>星の数</li> <li>月の変化</li> <li>絵本の読み聞かせ</li> <li>地球の不思議</li> <li>今住んでいる場所</li> <li>想像の世界</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽と地面の様子</li> <li>日陰の位置と太陽の動き</li> <li>地面の暖かさや湿り気の違い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月と星</li> <li>月の形と動き</li> <li>星の明るさ、色</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月と太陽</li> <li>月の位置や形と太陽の位置</li> <li>月の表面の様子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天体の動きと地球の自転・公転</li> <li>日周運動と自転</li> <li>年周運動と公転</li> <li>太陽系と恒星</li> <li>太陽の様子</li> <li>月の運動と見え方</li> <li>惑星と恒星</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙の構成</li> <li>宇宙のすがた</li> <li>太陽と恒星</li> <li>惑星としての地球</li> <li>太陽系の中の地球</li> <li>地球の形と大きさ</li> <li>地球内部の層構造</li> </ul>			